

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
2019(令和元)年度 第2回理事会 次第

日時 令和元年6月8日(土) 13時30分～16時00分
会場 静岡県青少年会館 2F 大ホール
司会 事務局長

1、開会

- (1) 開会のことば
- (2) 国旗儀礼
- (3) 歌「連盟歌」 花はかおるよ

2、開会のあいさつ 村松武博 理事長

3、資料の確認

4、出席者人数の確認 正副理事長 / 4 業務執行理事 県連盟コミッショナー / 1
業務執行理事 / 7 理事(学識経験者) / 2
地区代表理事 / 14 合計 / 28名
監事 / 2

参席 ユース委員長：県副コミッショナー・総務委員

5、議長及び議事録署名人について

議長 村松武博 理事長
議事録署名人 理事長及び監事

【協議事項・審議事項】

6、協議事項

組織拡充・広報・中途退団抑止等について

7、審議事項

- (1) 県連盟顧問・参与の推薦について 資料 No. 01-06-01
発言者 花畑副理事長
- (2) 地区正副・団担当コミッショナーの推薦について 資料 No. 01-06-02
発言者 小林県連盟コミッショナー

8、報告事項

- (1) 県連盟コミッショナー報告 発言者 小林県連盟コミッショナー
資料 No. 01-06-03
- (2) 常設委員会報告
 - ① 財政委員会 脇坂 茂 委員長
 - ② 総務委員会 松田 茂 委員長 資料 No. 01-06-04
 - ③ 組織拡充・広報委員会 川島 一郎 委員長 資料 No. 01-06-05
 - ④ 指導者養成委員会 志賀 裕人 委員長 資料 No. 01-06-06
 - ⑤ 野営・行事委員会 鈴木 均 委員長 資料 No. 01-06-07
 - ⑥ 進歩・国際委員会 宮崎 賞人 委員長 資料 No. 01-06-08
 - ⑦ セーフティホーム・安全委員会 脇坂 英子 委員長 資料 No. 01-06-09
- (4) 特別委員会

- ① ユース委員会 久原 宗仁 委員長 資料 No. 01-06-10
- ② 24WSJ実行委員会 松田準備委員長 資料 No. 01-06-11
- (5) 理事長報告
 - ① 全国県連盟代表者会議他 資料 No. 01-06-12
- (6) 地区報告 資料 No. 01-06-13
 - 浜松地区・浜松東地区
- (7) 事務局報告
 - ① 県連盟規程集の配布について
 - ② 県連盟名簿の配布について
 - ③ 日連・県連盟表彰について
 - ④ その他
- (8) その他

9. 閉会

国旗儀礼

※次回 令和元年 第3回 理事会開催予定

日時 令和元年 8月24日(土) 13時30分～16時00分

会場 静岡県青少年会館 2F 大ホール

理事会終了後納涼交歓会 18時 静岡市葵区昭和町 「炙之介」

【配布資料】

番号なし (当日配布物)

第1回理事会議事録・第2回理事会次第

以上

令和1年6月5日

2019年県連盟顧問・参与推薦者一覧表

沼駿地区

- 1.勝保 孝明 衆議院議員
- 2.頼重 秀一 沼津市長
- 3.杉山 盛雄 県議会議員
- 4.曳田 卓 県議会議員
- 5.鳥澤 由克 県議会議員

富士地区

- 1.吉川 赳 衆議院議員
- 2.小長井義正 富士市長
- 3.植田 徹 県議会議員
- 4.鈴木 澄美 県議会議員

静岡地区

- 1.上川 陽子 衆議院議員
- 2.田辺 信宏 静岡市長
- 3.天野 一 県議会議員
- 4.小長井由雄 県議会議員
- 5.石井 孝冶 市議会議員

参与

- 1.牧野 聖修 元衆議院議員
- 2.鈴木 智 元県議会議員

2019年度地区コミッショナー推薦名簿 (任期 2019年7月1日～2021年6月30日)

伊東地区

- 1.地区コミッショナー 渡辺 吉郎 2.副コミッショナー 坂本 敏明
3.団担当コミッショナー 鈴木喜代志

三島地区

- 1.地区コミッショナー 木村 利春 2.地区副コミッショナー 八巻 知子
3.地区副コミッショナー 鈴木 直子 4. " 大谷 正博
5. " 吉田 昌敏

沼駿地区

- 1.地区コミッショナー 西山 考司 2.地区副コミッショナー 芦川 芳紀
3.地区副コミッショナー 小原 純一 4. " 山田 恭久
5. " 高田 直哉 6. " 勝俣 政晴
7. " 野田 由男 8.団担当コミッショナー 田中 寛

御殿場・小山

- 1.地区コミッショナー 芹澤 秀樹 2.地区副コミッショナー 勝俣 竜哉
3.地区副コミッショナー 佐藤 玲子 4. " 熊倉 達郎
5. " 田山 達朗 6.団担当コミッショナー 藤曲 敏春

富士地区

- 1.地区コミッショナー 山本 真一 2.地区副コミッショナー 澤田 浩久
3.地区副コミッショナー 廣瀬真由美 4. " 宮本 和哉
5. " 本木 威達 6. " 金子 智一
7. " 加茂 誠行 8.団担当コミッショナー 渡邊 聡
9.団担当コミッショナー 遠藤 哲史

富士宮地区

- 1.地区コミッショナー 細野 猛嗣 2.地区副コミッショナー 遠藤真里子
3.地区副コミッショナー 二ツ神正吉 4. " 井出 輝彦
5.団担当コミッショナー 丸山 浩孝

清水地区

- 1.地区コミッショナー 橋本 智弘 2.地区副コミッショナー 萩原 節子
3.地区副コミッショナー 佐野 仁美 4. " 岩崎 正洋
5. " 岩本 勝代 6. " 堀 進
7. " 櫻井友加里 8.団担当コミッショナー 山崎 敏弘

静岡地区

- 1.地区コミッショナー 稲村 篤 2.地区副コミッショナー 松村 悠佑
3.地区副コミッショナー 山口 好彦 4. " 望月 ちな美
5.団担当コミッショナー 稲村 篤

志太地区

- | | | | |
|----------------|--------|--------------|-------|
| 1.地区コミッショナー | 鈴木 利昌 | 2.地区副コミッショナー | 佐藤 伸彦 |
| 3.地区副コミッショナー | 村松 沙由美 | 4. // | 福田 健一 |
| 5. // | 曾根 啓伍 | 6. // | 西尾 崇伸 |
| 7.地区団担当コミッショナー | 荒井 健 | 8.団担当コミッショナー | 岡本 資和 |

島田地区

- | | | | |
|--------------|--------|--------------|-------|
| 1.地区コミッショナー | 篠ヶ谷 路人 | 2.地区副コミッショナー | 増田 智弘 |
| 3.地区副コミッショナー | 鈴木 利章 | 4. // | 松浦 恵子 |
| 5. // | 大石 智一 | 6. // | 土屋 好弘 |
| 7. // | 山田 一晴 | 8.団担当コミッショナー | 増田 智弘 |
| 9.団担当コミッショナー | 鈴木 利章 | | |

掛川・袋井地区

- | | |
|-------------|------|
| 1.地区コミッショナー | 原 浩一 |
|-------------|------|

磐田地区

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| 1.地区コミッショナー | 熊谷 正和 | 2.地区副コミッショナー | 原 一弘 |
| 3.地区副コミッショナー | 玉沢 公章 | 4. // | 前島 正幸 |
| 5. // | 小川 好伸 | 6. // | 川口 哲也 |
| 7.団担当コミッショナー | 井口 光芳 | | |

浜松地区

- | | | | |
|-------------|-------|----------------|-------|
| 1.地区コミッショナー | 堀内 正治 | 2.地区副コミッショナー | 中嶋 一仁 |
| 3. // | 斎藤 晶子 | 4. // | 近藤 淳 |
| 5. // | 平野 浩司 | 6.地区団担当コミッショナー | 西村 清矢 |

浜松東地区

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| 1.地区コミッショナー | 鈴木 文志 | 2.地区副コミッショナー | 藤原 謙次 |
| 3.地区副コミッショナー | 寺田 智也 | 4. // | 奈木真由美 |
| 5. // | 鈴木 亮介 | 6. // | 波切 浩昭 |
| 7.団担当コミッショナー | 鈴木 広和 | 8.団担当コミッショナー | 和久田哲司 |

令和元年6月8日



令和元年6月理事会 県連盟コミッショナー報告



県連盟コミッショナー 小林 透

1. 地区訪問

内 容：地区コミッショナーの任務、指導者の任務、県連盟コミッショナー方針、意見交換

(1) 沼駿地区

- ①日 時：4月20日（土）19:30～21:00
- ②場 所：コミュニティながいずみ
- ③会合名：ラウンドテーブル（14名）
- ④訪問者：3名（県連盟コミッショナー、久原・小笠原副コミッショナー）

(2) 富士地区

- ①日 時：5月16日（木）19:00～21:00
- ②場 所：富士市教育プラザ
- ③会合名：地区委員会（20名）
- ④訪問者：2名（県連盟コミッショナー、丸山副コミッショナー）

(3) 浜松地区

- ①日 時：5月20日（木）19:30～21:20
- ②場 所：浜松市農村環境改善センター
- ③会合名：地区委員会（20名）
- ④訪問者：3名（県連盟コミッショナー、大澤、小笠原副コミッショナー）

2. 第1回地区コミッショナー会議

- (1) 日 時：4月27日（土）10:00～16:00
- (2) 場 所：静岡県青少年会館
- (3) 出席者：34名（地区コミッショナー14名（内代理3名）、面接担当6名、県正副コミッショナー8名、ユースチーム静岡4名、前進歩国際委員長、進歩国際委員長）
- (4) 内 容：ユースチーム静岡との懇談、面接の手引きについて（進歩国際委員会）、各委員

会からの連絡、その他

3. 第1回県連盟正副コミッショナー会議

- (1) 日 時：5月11日（土）10:00～12:00
- (2) 場 所：静岡県青少年会館
- (3) 出席者：7名（県連盟コミッショナー、副コミッショナー6名）
- (4) 内 容：第2回地区コミッショナー会議の進め方、ユースチーム静岡憲章について、2021年全国大会概要、3TCの促進、鹿児島全国大会日程とテーマ別集会担当、その他

4. 2019年度（令和元年）ボーイスカウト日本連盟全国大会

- (1) 日 程：5月25日（土）～26日（日）
- (2) 場 所：鹿児島市／市民文化ホール、鹿児島サンロイヤルホテル
- (3) 参加者：741名（静岡県内から29名が参加）
- (4) 内 容：開会式、表彰式、県連盟代表者会議、県連盟コミッショナー会議、RCJ総会、スカウト教育会議（テーマ別集会）、スカウティングエキスポ
- (5) その他：県連盟正副コミッショナーは6名が参加。スカウト教育会議（テーマ別集会）に出席し、6テーマのうち、5テーマに参加する。次回の地区コミッショナー会議でテーマ別集会の内容を報告。
テーマ①：100周年に向けて加盟員増加を目指して！（大澤副コミ）
※川村副コミは主催者として運営
テーマ②：部門の見直しに伴うプログラム実証の取り組み（澤田副コミ）
テーマ③：すべての指導者にスカウトスキルを（丸山副コミ）
テーマ④：実践しようセーフ・フロム・ハーム（小笠原副コミ）
テーマ⑥：世界のローバーはどんな活躍しているのか（久原副コミ）

5. 第1回全国県連盟コミッショナー会議

- (1) 日 時：5月25日（土）15:30～17:30
- (2) 場 所：鹿児島サンロイヤルホテル高千穂の間
- (3) 出席者：県連盟コミッショナー47名（代理者7名含む）、日本連盟副理事長、日本連盟正副コミッショナー3名、国際副コミッショナー1名、常設委員会委員長4名、特別委員会1名、事務局職員2名
- (4) 内 容：日本連盟コミッショナーの話し、水野副理事長の話し、常設委員会からの報告、質疑応答

6. 今後の予定

(1) 地区訪問

- ① 清水地区（地区委員会：6月18日（火）19時～）
- ② 島田地区（ラウンドテーブル：7月9日（火）19時30分～）
- ③ 御殿場小山地区（地区リーダー会：7月13日（土）19時～）

(2) 第2回地区コミッショナー会議

- ① 日 時：6月22日（土）10:00～16:00
- ② 場 所：静岡県青少年会館
- ③ テーマ：ベンチャースカウトフォーラムアクションプランについて
（ベンチャースカウトとの懇談）
2019 アクションプラン中間報告
全国県連盟コミッショナー会議報告・全国大会テーマ別集会報告

(3) 第2回県連盟正副コミッショナー会議

- ① 日 時：7月13日（土）10:00～12:00
- ② 場 所：静岡県青少年会館

(4) 第3回地区コミッショナー会議

- ① 日 時：8月24日（土）10:00～16:00
- ② 場 所：静岡県青少年会館
- ③ テーマ：SfHセミナー説明会（副コミおよびSfH担当委員・AM拡大会議）

7. 配布資料

- ・「セーフ・フロム・ハーム」セミナー2019 概要
- ・全国都道府県連盟の団診断について説明
- ・県連別団平均スカウト数 20190510
- ・団審査状況調査について（依頼）
- ・新規登録と中途退団の推移

以 上

「セーフ・フロム・ハーム」セミナー2019 概要

セミナーの目的

本セミナーは、18歳以上の者を対象に開設し、参加者が本運動における「思いやりの心を育む教育」を理解し、今後の活動に活かす事を目的とする。

セミナーの目標

1. 「セーフ・フロム・ハーム」の概要を知る。
2. 「セーフ・フロム・ハーム」に対して指導者として取り組む内容を理解する。
3. 問題が発生したときの適切な対応と考え方を理解する。
4. 自分を守る力の必要性を理解する

研修内容

【基本編】

地区コミッショナー主導のもと、指導者の初任研修として「セーフ・フロム・ハーム」に関する基本的な理解を深める研修。ラウンドテーブルなどで行う。

STEP 1. セーフ・フロム・ハーム

- 「セーフ・フロム・ハーム」の言葉の意味と、さまざまなハームについて知る。

STEP 2. 指導者としての取り組み

- 「セーフ・フロム・ハーム」のガイドラインを理解する。

STEP 3. 問題の発生と対応（基本編）

- 「セーフ・フロム・ハーム」に抵触する問題が発生した場合の対応方法の基本を理解する。

STEP 4. まとめと質疑応答

- 「セーフ・フロム・ハーム」推進活動は、スカウト活動を健全に行うためのものであることを理解する。

【実践編】

県連盟コミッショナー主導のもと、主に地区コミッショナーや団委員長を対象として「セーフ・フロム・ハーム」に関する基本的な理解と合わせ、相談者や相手方との対応の留意点についてケースを基に学習する研修。

STEP 1. セーフ・フロム・ハーム

- 「セーフ・フロム・ハーム」の言葉の意味と、さまざまなハームについて知る。

STEP 2. 指導者としての取り組み

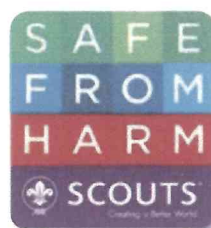
- 「セーフ・フロム・ハーム」のガイドラインを理解する。

STEP 3. 問題の発生と対応（実践編）

- 「セーフ・フロム・ハーム」に抵触するケーススタディから聴き取り調査などの対応について実践的に学ぶ。

STEP 4. まとめと質疑応答

- 「セーフ・フロム・ハーム」推進活動は、スカウト活動を健全に行うためのものであることを理解する。



全国都道府県連盟の団診断についての説明

団診断は、前年度の各団年間スカウト数登録実績値を基に、別表 1 の基準に照らし合わせて S・A・B・C・D のカテゴリーに分けています。

(別表 1)

カテゴリー S	団スカウト数 100 人以上
カテゴリー A	団スカウト数 65～99 人
カテゴリー B	団スカウト数 40～64 人)
カテゴリー C	団スカウト数 20～39 人
カテゴリー D	団スカウト数 19 人以下

このカテゴリー分けを行う意味は、団の規模を考慮した支援策の構築です。

なお(別表 1)の基準の根拠は(別表 2)によるところです。

(別表 2)

カテゴリー	BVS	CS	BS	VS	RS	
学年・組・班	2 学年	4 組	4 班	3 学年	8 年	
	10 人/学年	6 人/組	8 人/班	6 人/学年	1 人/学年	
S (100 以上)	20 人	24 人	32 人	18 人	8 人	104 人/標準
A (99～65)	15 人	18 人	24 人	12 人	5 人	74 人/標準には至らず
B (64～40)	10 人	15 人	18 人	6 人	3 人	52 人/複数組班編成
C (39～20)	6 人	9 人	8 人	3 人	1 人	27 人/少人数隊
D (19～1)	2 人	4 人	4 人	1 人	1 人	12 人/隊が困難な状態

このようにデータを作ることにより次のような状況が把握できると考えます。(教育面、運営面、財政面など)

- ①スカウト人数を基準とした隊(団)の活動状況について、ある一定の推察が可能になる。
- ②県連盟や地区内にどのようなカテゴリー分布があるかにより、県連盟(地区)の状況についてある一定の推察が可能になる。
- ③推論として「B」以上の団が複数の班あるいは組を編成し活動を行える状況とした場合に、日本連盟が現状想定しているプログラム展開が可能な状況であるといえる。
- ④各団固有の問題点を抽出し、カテゴリー特有の課題に整理し効果的な支援策を講じることができる。
- ⑤各団が数値的な目標設定をイメージできる。
- ⑥より実情に合った支援策が構築できる。

現状この団診断のカテゴリーを基準として、日本連盟コミッショナーからも、C、D 団へ支援の優先順位を上げて対応する方針が示されており、各県連盟コミッショナーは支援策を検討し、実行に移行しています。

以上

全国都道府県連盟の団診断について

団診断は、平成30年度末（平成31年3月末日）のデータによりS・A・B・C・Dにカテゴリーを分けている。分け方は団のスカウト人数により分類している。

カテゴリーS 団スカウト数100人以上

カテゴリーA 団スカウト数65～99人

カテゴリーB 団スカウト数40～64人

カテゴリーC 団スカウト数20～39人

カテゴリーD 団スカウト数19人以下

◇平成30年度の全団のデータによると、全国1982団のカテゴリーは次のとおりとなる。

	団 数					
	H30		H29		H28	
S	19 団	0.96%	22 団	1.07%	24 団	1.14%
A	101 団	5.10%	113 団	5.51%	127 団	6.04%
B	335 団	16.91%	376 団	18.33%	402 団	19.12%
C	715 団	36.07%	727 団	35.45%	754 団	35.87%
D	812 団	40.96%	813 団	39.64%	795 団	37.83%
計	1982 団	100.00%	2051 団	100.00%	2102 団	100.00%
	<u>S+A+B=22.97%</u>		<u>S+A+B=24.9%</u>		<u>S+A+B=26.3%</u>	
	<u>C+D=77.03%</u>		<u>C+D=75.1%</u>		<u>C+D=73.7%</u>	

	スカウト数					
	H30		H29		H28	
S	2,218 人	4.0%	2,604 人	4.4%	2,859 人	4.6%
A	7,729 人	14.0%	8,571 人	14.6%	9,799 人	15.8%
B	16,488 人	29.8%	18,459 人	31.4%	19,886 人	32.0%
C	20,418 人	36.9%	20,530 人	35.0%	21,455 人	34.5%
D	8,446 人	15.3%	8,513 人	14.5%	8,176 人	13.1%
計	55,299 人	100.0%	58,677 人	100.0%	65,175 人	100.0%
	<u>S+A+B=47.8%</u>		<u>S+A+B=50.5%</u>		<u>S+A+B=52.4%</u>	
	<u>C+D=52.2%</u>		<u>C+D=49.5%</u>		<u>C+D=47.6%</u>	

※S～Bの団所属の約47.8%のスカウトは複数の班・組を構成する隊で活動しているとみられる。

◇団スカウト数100人は全ての隊が標準隊

カテゴリー	BVS	CS	BS	VS	RS	
学年・組・班	2 学年	4 組	4 班	3 学年	8 年	
上記当り人数	10 人	6 人	8 人	6 人	1 人	
S (100 以上)	20 人	24 人	32 人	18 人	8 人	104 人／標準
A (99～65)	15 人	18 人	24 人	12 人	5 人	74 人／標準には至らず
B (64～40)	10 人	15 人	18 人	6 人	3 人	52 人／複数組班編成
C (39～20)	6 人	9 人	8 人	3 人	1 人	27 人／少人数隊
D (19～1)	2 人	4 人	4 人	1 人	1 人	12 人／隊が困難な状態

以 上

県連別団平均スカウト数20190510.xls

	連盟	加盟員	団数	成人	スカウト	団平均スカウト		S	A	B	C	D	団数
1	北海道	1,129	42	595	534	12.7	D	0	0	2	8	32	42
								0.00%	0.00%	4.76%	19.05%	76.19%	
2	青森県	271	8	152	119	14.9	D	0	0	1	0	7	8
								0.00%	0.00%	12.50%	0.00%	87.50%	
3	岩手	407	10	152	255	25.5	C	1	0	1	0	8	10
								10.00%	0.00%	10.00%	0.00%	80.00%	
4	宮城県	766	23	378	388	16.9	D	0	0	3	4	16	23
								0.00%	0.00%	13.04%	17.39%	69.57%	
5	秋田	202	8	96	106	13.3	D	0	0	0	2	6	8
								0.00%	0.00%	0.00%	25.00%	75.00%	
6	山形県	240	6	106	134	22.3	C	0	0	1	2	3	6
								0.00%	0.00%	16.67%	33.33%	50.00%	
7	福島	700	24	345	355	14.8	D	0	1	1	3	19	24
								0.00%	4.17%	4.17%	12.50%	79.17%	
8	茨城県	1,997	42	887	1,110	26.4	C	1	2	6	15	18	42
								2.38%	4.76%	14.29%	35.71%	42.86%	
9	栃木県	1,167	26	457	710	27.3	C	0	1	6	7	12	26
								0.00%	3.85%	23.08%	26.92%	46.15%	
10	群馬県	1,251	29	512	739	25.5	C	0	1	3	11	14	29
								0.00%	3.45%	10.34%	37.93%	48.28%	
11	埼玉県	5,986	115	2,395	3,591	31.2	C	1	10	21	44	39	115
								0.87%	8.70%	19.26%	38.26%	33.91%	
12	千葉県	5,728	101	2,561	3,167	31.4	C	1	4	24	45	27	101
								0.99%	3.96%	23.76%	44.55%	26.73%	
13	神奈川県	8,000	132	3,397	4,603	34.9	C	3	9	33	50	37	132
								2.27%	6.82%	25.00%	37.89%	28.03%	
14	山梨	609	12	252	357	29.8	C	0	1	3	5	3	12
								0.00%	8.33%	25.00%	41.67%	25.00%	
15	東京	14,619	238	6,454	8,165	34.3	C	4	17	59	87	71	238
								1.68%	7.14%	24.79%	36.55%	29.83%	
16	新潟	736	23	345	391	17.0	D	0	0	3	5	15	23
								0.00%	0.00%	13.04%	21.74%	65.22%	
17	富山県	1,083	26	431	652	25.1	C	0	0	4	10	12	26
								0.00%	0.00%	15.38%	38.46%	46.15%	
18	石川県	1,121	23	433	688	29.9	C	0	4	2	8	9	23
								0.00%	17.39%	8.70%	34.78%	39.13%	
19	福井	550	16	222	328	20.5	C	0	0	0	8	8	16
								0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	50.00%	
20	長野県	1,096	23	494	602	26.2	C	0	1	5	5	12	23
								0.00%	4.35%	21.74%	21.74%	52.17%	
21	岐阜県	1,549	28	660	889	31.8	C	0	2	7	9	10	28
								0.00%	7.14%	25.00%	32.14%	35.71%	
22	静岡県	4,814	103	2,130	2,684	26.1	C	1	5	18	34	45	103
								0.97%	4.85%	17.48%	33.01%	43.69%	
23	愛知	10,544	184	4,755	5,789	31.5	C	0	14	39	73	58	184
								0.00%	7.61%	21.20%	39.67%	31.52%	
24	三重	622	13	264	358	27.5	C	0	0	3	6	4	13
								0.00%	0.00%	23.08%	46.15%	30.77%	
25	滋賀	1,123	21	448	675	32.1	C	1	1	5	6	8	21
								4.76%	4.76%	23.81%	28.57%	38.10%	
26	京都	2,722	58	1,283	1,439	24.8	C	0	0	13	22	23	58
								0.00%	0.00%	22.41%	37.93%	39.66%	
27	兵庫県	6,194	111	2,395	3,799	34.2	C	3	7	25	38	38	111
								2.70%	6.31%	22.52%	34.23%	34.23%	
28	奈良県	2,457	49	1,180	1,277	26.1	C	1	3	2	20	23	49
								2.04%	6.12%	4.08%	40.82%	46.94%	
29	和歌山	894	17	456	438	25.8	C	0	1	3	5	8	17
								0.00%	5.88%	17.65%	29.41%	47.06%	
30	大阪	7,802	158	3,476	4,326	27.4	C	1	9	20	66	62	158
								0.63%	5.70%	12.66%	41.77%	39.24%	
31	鳥取	459	10	194	265	26.5	C	0	0	2	4	4	10
								0.00%	0.00%	20.00%	40.00%	40.00%	
32	島根	551	15	240	311	20.7	C	0	1	1	3	10	15
								0.00%	6.67%	6.67%	20.00%	66.67%	
33	岡山	874	20	326	548	27.4	C	0	1	2	10	7	20
								0.00%	5.00%	10.00%	50.00%	35.00%	
34	広島県	1,114	24	481	633	26.4	C	0	1	2	11	10	24
								0.00%	4.17%	8.33%	45.83%	41.67%	
35	山口県	971	24	425	546	22.8	C	1	0	1	9	13	24
								4.17%	0.00%	4.17%	37.50%	54.17%	
36	徳島	229	10	123	106	10.6	D	0	0	0	3	7	10
								0.00%	0.00%	0.00%	30.00%	70.00%	
37	香川	552	16	212	340	21.3	C	0	1	1	6	8	16
								0.00%	6.25%	6.25%	37.50%	50.00%	
38	愛媛県	1,196	31	479	717	23.1	C	0	1	1	19	10	31
								0.00%	3.23%	3.23%	61.29%	32.26%	
39	高知県	80	2	40	40	20.0	D	0	0	0	1	1	2
								0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	50.00%	
40	福岡県	2,296	50	1,062	1,234	24.7	C	0	2	7	16	25	50
								0.00%	4.00%	14.00%	32.00%	50.00%	
41	佐賀県	410	14	175	235	16.8	D	0	0	0	6	8	14
								0.00%	0.00%	0.00%	42.86%	57.14%	
42	長崎県	376	15	183	193	12.9	D	0	0	1	2	12	15
								0.00%	0.00%	6.67%	13.33%	80.00%	
43	熊本県	779	27	337	442	16.4	D	0	0	2	7	18	27
								0.00%	0.00%	7.41%	25.93%	66.67%	
44	大分県	437	10	162	275	27.5	C	0	1	0	7	2	10
								0.00%	10.00%	0.00%	70.00%	20.00%	
45	宮崎	497	15	205	292	19.5	D	0	0	1	5	9	15
								0.00%	0.00%	6.67%	33.33%	60.00%	
46	鹿児島県	321	11	157	164	14.9	D	0	0	0	3	8	11
								0.00%	0.00%	0.00%	27.27%	72.73%	
47	沖縄県	439	18	180	259	14.4	D	0	0	1	4	13	18
								0.00%	0.00%	5.56%	22.22%	72.22%	
48	日本	45	1	14	31	31.0	C	0	0	0	1	0	1
								0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	0.00%	
	日連	98,005	1,982	42,706	55,299		C	19	101	335	715	812	1,982
								0.96%	5.10%	16.90%	36.07%	40.97%	

2019年5月31日

ボーイスカウト都道府県連盟
県連盟コミッショナー 各位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局長 木村 公一
(公 印 省 略)

団審査状況調査について（依頼）

5月25日の全国県連盟コミッショナー会議において、別紙のとおり中途退団抑止特別委員会（膳師功委員長）よりお願いしました標題の調査について、下記のとおり回答方法のご案内を申し上げます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

■ 方法

県連盟（あるいは地区）から、Webフォームより団審査の状況を「入力」して、「送信」してください。

フォームのURLは、<https://scout-assoc.jp/ge/> です。右のQRコードからも入れることができます。



資料を提出するためのフォームであるので、パスワードは設けていません。

※ 回答を送信した後に内容を訂正したい場合は、再度送信してください。ただし、以前に送信した内容を上書きしますので、訂正箇所以外の回答をもれなく入力してから送信してください。

■ 回答者

回答は、それぞれの県連盟の実情に沿って回答をしてください。例えば、地区ごとに別々の方法で審査している場合は、地区単位で回答してください。この場合、県連盟の回答は不要です。ただし、特別の団について県連盟が直接、審査をしている場合などは、地区からの回答に加えて、県連盟でも回答してください。

地区がなく県連盟で審査している場合や、審査方法を県連盟で統一している場合は、県連盟が回答してください。

■ 回答期限

2019年（令和元年）6月30日（日）まで

以上

団審査状況調査について

2019.5.25 中途退団抑止特別委員会

別にご案内の通り、中途退団抑止委員会では、全団悉皆調査を行うこととなりました。その情報から、一定の傾向が得られ、委員会として対策を提案できると考えていますが、対策を実施する主体は団でなければならないため、次のことを考慮する必要があると考えています。

- (1) 妥協を排除した本来あるべき姿を目標に据える。
- (2) 各団の状況に合った対策を導き出す。
- (3) 対策の継続的な実施を牽引する(団の自力に委ねるのは厳しい状況がある)。
- (4) 準備されたさまざまなツールや研修機会などを、うまく活用する。
- (5) 何年も継続して団をフォローする態勢を確保する。

これらは**コミッショナーに期待せざるを得ません**。コミッショナーが団について十分な情報を得て、日頃からコミュニケーションをとり、継続的に支援しなければ対策は成就しないでしょう。そのために、今回の悉皆調査も活用できますが、それだけでは不十分で、実効性のある支援には、別途、個別に**団審査**を行う必要があると考えています。

中途退団抑止特別委員会としては、コミッショナーが**団審査**を的確に行うことを担保にして、対策を提案していきます。そのため、全団の悉皆調査と同時に、各県連盟でのコミッショナーの**団審査の現状**についても調査することといたします。

■ 方法

県連盟・地区から、所定のWebフォームより団審査の状況を入力して送信もらう。
資料を提出するためのフォームであるので、パスワードは設けない。

■ 調査内容

フォームの内容は次ページのものを考えています。

■ URL・スケジュール

フォームのURL、提出期限等は後日案内します。

貴連盟における回審査の状況について、回審査を実施している主体(県・地区)ごとに回答してください

(選択) 連盟 地区の状況 報告者 役務: 県連盟コミッショナー 名前:

毎年決まった時期に回審査を行っておりますか はい いいえ

はい を選択した場合

詳しい状況を入力してください

審査時期 毎年 1月 ごろ

審査方法 書類提出 面談

詳細:

審査する人 県コミ 県副コミ 地区コミ 地区副コミ 団担当コミ

その他:

審査に立ち会って
もらう回の人 団委員長 副団委員長 団委員 各隊隊長

その他:

審査内容(項目)

回審査票等の資料

- 1: ファイルが選択されていません。 2: ファイルが選択されていません。
3: ファイルが選択されていません。 4: ファイルが選択されていません。
5: ファイルが選択されていません。 6: ファイルが選択されていません。

審査結果の活用

送信

毎年決まった時期に回審査を行っておりますか はい いいえ

いいえ を選択した場合

詳しい状況を入力してください

できていない理由

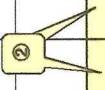
できるようになる
時期の目途

送信

● 2019年度 各団組織視点分析 & 改善の方向
三島地区

記入手順
①2018年度及び2019年度の印刷委員の有無、人数等、黄色セルを入力
②特任と改善・要望は自由記入

三島地区	登録者数 対地区比率	指導者数 団員数	指導者数 対地区比率	団組織委員		団委員長 兼務者 有:1 無:0	団委員長 兼務者 有:3 無	団の将来 いいえ:はい	団最大課題 ない:ある	隊全体内訳 隊指導者 スカウト	BVS内訳 スカウト 隊指導者	CS内訳 スカウト 隊指導者	BS内訳 スカウト 隊指導者	VS内訳 スカウト 隊指導者	RS内訳 スカウト 隊指導者	記入者	改善・要望点 (例)①継続困難部門の他団への行動機 案 ②人事刷新による若手補充	
				有:1 無:0	内 員数													
三島地区 合計				0	0	0	4	0	0	105	268	45	96	21	91	4	28	
2019年度当初(人)				0	0	0	4	0	0									
2018年度当初(人)				0	0	0	0	0	0									
2017年度当初(人)	464	71	105	3	5	3	4	5	6	288	26	32	45	96	21	91	4	28
2016年度当初(人)				0	0	0	0	0	0									
2019年度当初(人)				0	0	0	0	0	0	0	0							
地区構成比率 (%)																		
2019年度当初(人)																		
地区構成比率 (%)																		
2017年度当初(人)	101	12	19	1	1	1	1	有	ある	19	70	7	27	4	15	8	2	3
2019年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2018年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2017年度当初(人)	116	13	25	1	2	1	2	有	ある	25	78	6	12	25	4	25	3	11
2019年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2018年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2017年度当初(人)	9	6	2					有	はい	2	1							
2019年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2018年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2017年度当初(人)	47	13	11	0	0	3	3	無	ある	11	23	4	3	4	3	10	1	5
2019年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2018年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2017年度当初(人)	108	15	28	1	2	2	3	有	ある	28	65	5	3	14	23	7	23	1
2019年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2018年度当初(人)										0	0							
地区構成比率 (%)																		
2017年度当初(人)	60	6	16	0	0	3	3	有	ある	16	38	5	1	8	12	2	11	1



令和元年6月8日

新規登録と中途退団の推移

(日本連盟事業報告組織拡充資料より)

	H28	H29	H30	R1
新規スカウト数	380	474	327	258
BVS	226	297	219	184
CS	138	148	92	52
BS	15	22	12	17
VS	1	2	2	4
RS	0	5	2	1
新規指導者数	129	177	131	115
隊指導者	93	119	76	81
団委員	36	58	55	34
合計	509	651	458	373

未継続スカウト	611	577	573	518
未継続指導者	258	265	343	367
未継続者数	869	842	916	885
非継続団	3	2	9	6

加盟登録数	5,467	5,276	4,818	4,306
前年比	-360	-191	-458	-512

※2019年(令和元年)は、5月31日現在の数字を記載

新規登録と中途退団の推移

